

2017年(平成29)5月31日(水) 第43回 例会 (通算2749回)



人類に
奉仕する
ロータリー

RI 会長: ジョン・F・ジャーム

Weekly Report No.2627

Rotary International District 2580

石垣ロータリークラブ



Rotary
石垣ロータリークラブ

地区ガバナー: 上山 昭治氏

「出会いを大切に」

ロータリーレート \$1=¥110

石垣ロータリークラブ55年のあゆみ

1997~1998年度

会長テーマ《ロータリーの例会で語らう》

副会長 大原 正啓 幹事 遠藤 義夫
副幹事 入松田 孫幸



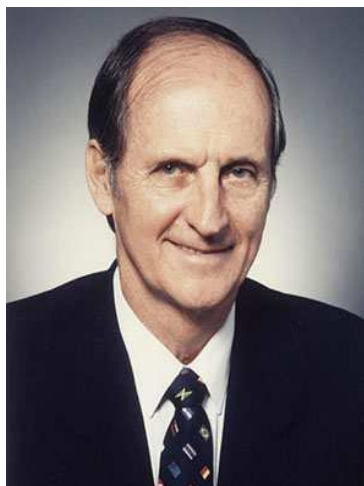
三十七代会長 白川 繁利

- 「沖縄経済を考える」と題して、琉球沖縄銀行常任監査役牧野浩隆氏をお招きして、一般市民を対象に講演会を実施(9/17)
- 台東 RC15 周年記念式典に参加(10/20)
- 米沢西 RC35 周年記念式典に参加(4/26)

《社会情勢》 1998年

- ・石垣市・与那国制施行 50 周年記念式典
- ・大濱信泉記念館落成式
- ・国道 390 号バイパス開通式
- ・香港がイギリスから中国に返還
- ・郵便番号が 5 桁から 7 桁に

【RIテーマ】



1997~98 年度 RI 会長
グレン W・キンロス
(豪州・ハミルトン RC)



*for your community
for our world
for its people*

Show Rotary Cares

ロータリーの心をあなたの住むところ

私たちの世界 そこに住むすべての人々に

会長 : 前木 繁孝 副会長 : 大浜 一郎 幹事 : 前原 博一
副幹事 : 宮城 早人 SAA・出席 : 遠藤 正夫 情報・会報 : 宮良 薫

例会日 水曜日 12:30~13:30
例会場 アートホテル石垣島(0980)83-3311
事務局 〒907-0013 石垣市浜崎町 1-1-4

TEL/FAX(0980)83-2917
URL <http://ishigaki-rotary.jimdo.com>
E-mail ishirotyar@ninus.ocn.ne.jp

— . . . — 第2748回 2017年5月24日(水) 例会報告 — . . . —

- 司会進行：遠藤 正夫
- ロータリーソング：奉仕の理想・四つのテスト
- ソングリーダー：宮城 早人
- 会員卓話：松林 豊氏(石垣島製糖㈱代表取締役)
- ピジター：平塚 洋一氏(東京秋川 RC)
- メークアップ：櫻井浩一・上勢頭 保・羽地宏幸
- 出席報告

会員総数 39名 出席義務会員 38名
出席数 20名 欠席数 18名
出席率 52.63%(5月通算出席率 62.28%)

本日のここにこ

	小計	累計
BOX	¥3,000	¥257,000
コイン	¥2,921	¥124,927
合計		¥381,927

- 本日卓話の松林社長、ありがとうございました。
(前木 繁孝)
- 松林さん、卓話有難うございました。(大浜 勇人)
- 松林社長、今日は卓話ありがとうございました。
(前原 博一)

会長挨拶：前木 繁孝



去った14日の公開例会の際には、足を運んで頂きまして、ありがとうございました。お陰様で盛会のうちに終了出来まして、懇親会も楽しく過ごすことが出来ました。無事、滞りなく終了することが出来ました事を御礼申し上げます。

早いもので梅雨入りをして、1週間になります。ハリー一鐘になると、梅雨が終って真夏に突入だという事がよく言われます。来週の月曜日はハリー一です。旧暦でいくと、今年だけ5月が2回あります。そうすると梅雨が明けるまでにもう1回の5月を終了しないとイケないのかなと、勝手に考えたりしています。

今日の食事にもパインが出てきました。私が幼少の頃、今真喜良小学校がある場所はパイン缶詰工場でした。そこに台湾の女工さんが毎日バスで降りて、白い雨靴に白い制服を着て、ずっとラインに立っている姿を毎日眺めていました。すごく活気のある時代だったと思います。そのパイン産業がなくなって行き、今や観光だけのパインにな

ってしまっています。そんな中、石垣島の大事な産業であるサトウキビ、サトウキビ農家をやる気にさせているのが石垣島製糖ですが、今日は石垣島製糖の松林社長に講話を頂きます。

その黒糖について、手前味噌ですが、うちの会社でフェイスブック、暮らしのヒント集という事で発信していますが、本日発信した内容を読み上げさせていただきます。「沖縄では2010年から、語呂合わせで5月10日を「黒糖の日」としました。黒糖づくりは、1623年首里王府の役人儀間真常が中国福建省へ人を派遣し、製糖法を学び、琉球へ持ち帰らせたのが始まりと言われています。原料は100%のサトウキビの絞り汁。そのサトウキビには様々なビタミンやミネラルが豊富に含まれています。中でも多いのがカリウム。カリウムには血圧を下げる効果があり、その他にも免疫力を高める効果があるラフィノースや骨や歯を丈夫にして、骨粗しょう症対策にもなるカルシウムが豊富に含まれています。簡単に摂取することができますので、砂糖ではなく黒砂糖を家庭に常備しておくといいですね。」

日夜、石垣の農家の為にご尽力されている松林社長が、去年の製糖操業終了式で話された言葉が八重山日報社に掲載されていたので、抜粋してご紹介します。「2015-16年期操業終了式が開かれた。昨年相次いだ台風や収穫時期の長雨の影響を受け、操業期間が延び、サトウキビの糖度は12.38度と前年比で2.1度の減。原料代金は3億6,859万円となり、前年比で8,434万円の減と大幅に落ち込んだ。松林社長は来期のサトウキビ生産にも大きな影響が出てしまった、と挨拶した。」という内容の記事が、ちょうど1年前の今日出ていました。果たして今日はどんなお話をなさるのでしょうか。楽しみにしております。

幹事報告：前原 博一

東京ロータリークラブが2011年7月から10年間の継続プログラムで、東北すくすくプロジェクトというプロジェクトを実施しております。当クラブでは隔年で5万円の寄付としておりますが、今年度寄付金を送金致しましたところ、お礼状が届いておりますので、ご報告致します。



会員卓話：松林 豊氏

石垣島製糖（株）代表取締役

～テーマ「石垣に来て」～



今期は台風の影響が大きいと思っておりますが、農家の皆さんの頑張りの結果、去年の収穫量をやや上回る結果となりました。面積は200ヘクタール減りましたが、収穫量は増え、糖度も14.3台で平年並みをキープして、結果的には非常に良い年だったと言えますと思います。来期は1,400ヘクタール超えていますので、今年並みの反収があれば10万トン近くのサトウキビになると予測して、製糖開始は12月から動けるように工場整備を中心に進めているところであります。

私が石垣島に来てすぐに経験した、私にとってびっくりした話をご紹介します。アパートに何も無い状態で、メイクマンに何回も通い、色んな物を買って、お金が無くなってしまい、銀行にお金をおろしに行った時の事です。そこで初めて使うキャッシュカードをATM機に入れると、カードが戻って来てしまいました。それでフロアの銀行の方に聞きに行くと、その方はすぐに私からカードを受け取って、ATMに入れて下さったんです。なぜだか入ったんです。後は自分でやろうと思った時に、その銀行の方が暗証番号を入れて下さい、と言われました。入力しようと思いましたが、その方が私の指先を見ているんです。私の経験では、そういう時、銀行の方は後ろを向くはずなんです。まいったな一と思いましたが、4桁入れました。次に引き出す金額を入れる時も、まだ背後におられるんです。引き出すお金をあまり見せたくなかったんですが、仕方がないので、金額を入力しました。それからが本当に驚いたのですが、ATMの取り出し口が開いて、お金を取り出そうとしました。そしたらその方が私より早く、手を突っ込んで、そのお金を取り出して、横にある銀行の封筒に入れてくれて渡してくれました。その時はありがとうございます。と言って、銀行を出たんですが、金額の確認もしてないし、何枚か取られても分からないなど、色んなことを考えました。

もう1つびっくりした事なんです、10月頃石

垣でお祭りがあって、前日に会社の人から市民会館でサトウキビの展示してあるブースがあると、社長行きますかと言われ、立場上行くよと言ったんです。私の家は八重山支庁の前のアパートなんですが、当日はバスで行きました。そして市民会館の展示を見て、バスに乗って帰りました。バスターミナルから八重山支庁前に行くには、ホテルの前を通るバスとサンエーの前を通るバスがあります。偶然サンエーの前を通るバスに乗りました。八重山支庁前で降りる時、運転手さんに言われたんです。「お客さんANAのホテルはそこを戻って左に行くんですよ。」私は自分の家へ帰る所だったので、なんでそんなことを言うのかなと思って、「ホテルに行かないよ」と言いました。「じゃどこへ行くの」と言われたんです。なんでどこに行くのか言わないといけないのかと思って、変な所だなと思ったんですが、「家に帰るんだよ」と言っちゃたんです。そしたら運転手さんとは1mくらい離れていましたが、そこで空気が涼しくなりましたが、言葉に困ってしまって、そのまま降りましたが、なんでああいう事を聞くのかなと、どこに行くのって大きなお世話だと思ったんです。

銀行の話とバスの運転手さんの話、いろいろ考えてみました。結論は、私は千葉にいましたが、ここは石垣島なんだ。石垣島の方は私が経験した人達と違って、親切で悪い事は絶対しないんだ。疑われるという事も考えた事がないんだ。そう思わないと、銀行の対応やバスの運転手さんの事が理解できなかったんです。私はその時にそう思う事にしました。石垣島は本当に良い所なんだと、一種の洗脳状態、自分の頭でそう整理しました。そのおかげで、会社の人も含め、私の周りにいる人達に対して、今までの自分の常識は変えた方がいいという気持ちを持って接することができました。赴任して1年8ヶ月になりますが、自分なりには非常に良い、信頼できる環境を持った人たちに囲まれて、生活が出来ているのだと思います。最初の2回の経験のおかげで、石垣は良い所で、私にとって非常に生活のしやすい環境で、過ごしてこれたのだと思っております。本当に感謝したいと思っております。

石垣島製糖の話ですが、石垣島製糖、昭和36年に造ったので55年を超えております。かなり老朽化しております。サトウキビは基幹産業として55年やってきましたが、これからまた50年60年

と続けて行かなければいけない産業であると、私は思っております。その中で砂糖を精製する工場が老朽化しているという事は、非常に大きな問題であろうと。赴任してから新工場構想が出てきましたが、なんとしてでも石垣島製糖を再生させる方法を考えなければいけないと思っております。なぜ新工場かという、1つは能力不足です。昔は手刈りが多い事もあって、圧搾量1,000tできました。ところが今は機械刈りが75%-80%になって、トラッシュが非常に多いという事で、MAX900t、平均すると800tまでしかできません。石垣島のサトウキビの増産プロジェクトでは93,000tを目指していますので、工場の能力を上げるために、今1,200tくらいを考えております。次にあるのが建屋、基礎を含めてかなり劣化しております。外見上建屋もきれいな所はありますが、基礎部分の鉄筋が糖分によって腐食して、サビで膨れ上がって亀裂が入る、またその中に糖分が入る。これは5年10年は問題ないと思っております。ただ40年50年考えた時には、手を打たなければいけない問題であると見ております。3つ目が設備の老朽化。55年経って最初から使っている設備がまだ多いという事もあって、これを更新しなければいけないんですが、製糖が終了してから製糖開始するまでの5・6ヶ月で工事をやるとなると、大変な密度の高い工事になってしまいます。またやっても次の製糖に入って、あまり試運転もできないまま、動かすわけですから、トラブって1ヶ月も止まったら大変なことになります。となると、やはり今は新工場を計画したいという事が、一番有力な案となっております。

沖縄県で黒糖工場はほとんど更新が終わっております。製糖工場7つが古いまま、1つは更新しております。鹿児島県にも同じような工場が7つぐらいあり、合わせて15近くの老朽化した工場が残っています。工場を新設する場合、最低でも3年、場合によっては4年かかります。15の工場があると、終わるまでに45年かかるんです。ただ残念ながら、沖縄県でも鹿児島県でも手を挙げて新工場を造りたいというのは、まだ正式にはありません。石垣島製糖だけです、非常に声が小さくて、インパクトが弱い。今私共がやれることは何かといたら、引き続き要請はやって行きますが、やはり石垣島の中で、石垣島製糖という会社が必要なかどうかという議論を始めて行かなければい

けないのかなと思っております。サトウキビ農家もまだ多いですが、全てではありませんので、当然市の負担も出てきます。地域の中で石垣島製糖ないと困るよねという事で、協力して頂けるかどうか、それによって声を大きくして、中央の方に要請をやりたいと思っております。ひきつづき地域の皆さんの協力を得て、新工場を建設するという事で進めていきたいと思っております。また地域を回り、新工場建設の内容を説明させて頂いて、ぜひご協力をして頂きたいという事をお願いしたいと思っております。

～ 例会風景 ～



平塚様、東京秋川R
Cからご来会下さい
ました。

松林社長
ありがとうございました。

